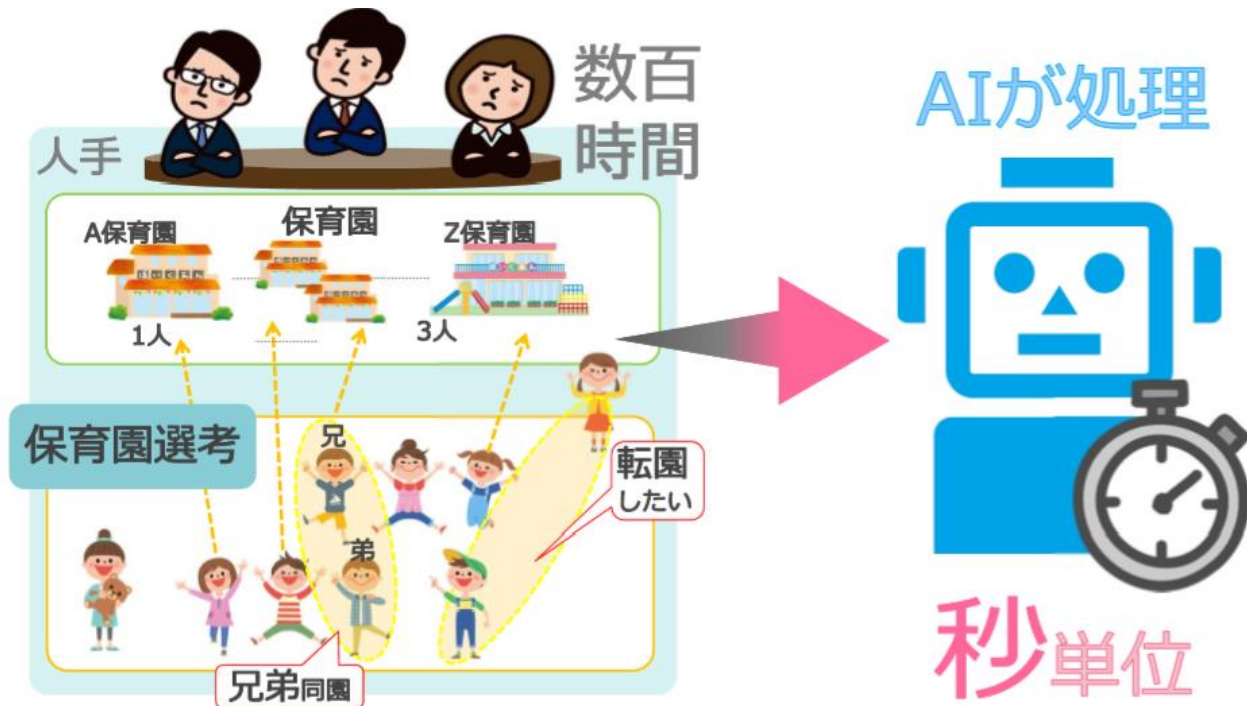


■ 保育所入所 A I 選考システムについて

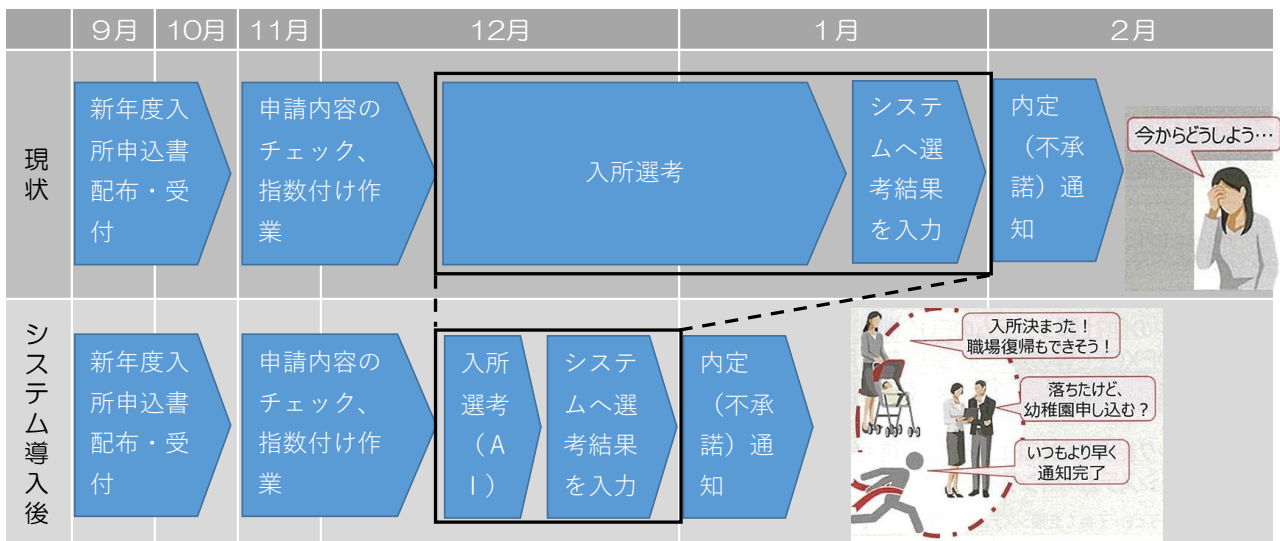
1. 保育所入所 A I 選考システムの導入の目的

現在、保育所入所選考に係る利用調整業務は、職員の手作業により、申込者の希望園、就労状況、世帯状況等に基づき指数を付け、各保育所の利用定員を勘案した上で、決定園や案内園（第1希望以外の園）の調整を行っている。しかし、申込者数の増加や保育ニーズの多様化等により利用調整業務に多大な時間を要し、結果的に入所の可否について早急に通知することができていない状況となっていることから、保育所入所 A I 選考システムの導入を図ることにより、事務の効率化及び業務期間の短縮化に努め、現状よりも早期に入所の可否の通知を行うことによりサービスの向上を目指す。

2. A I 選考の概要



3. 保育所入所 A I 選考システムの導入イメージ



(令和2年3月議会承認後)

■子ども食堂（モデル事業）について

1 子ども食堂について

▼ 目的

ひとり親家庭に対し食事などを提供する「子ども食堂」を開設することにより、ボランティアの方を通じての地域交流、ひとり親等が抱える悩み・相談などの意見交換などを行う。

▼ 実施概要（平成 30 年度・令和元年度モデル事業）

種 別	事 業 内 容
実施団体	にしび夢のかけはしプロジェクト
実施場所	西枇杷島会館 2階ホール会議室
実 施 日	5月～2月までの第4日曜日 合計10回
実施時間	11時～14時
実施内容	11～12時:スタディタイム（幼児はリズム遊び、小学生は個別学習） 12～13時:ランチタイム（月により特別メニュー） 13～14時:プレイタイム（親子で参加できる文化や運動に触れるイベント）
対 象 者	概ね3歳～小学生のこどものいるひとり親・一般世帯の親子 20組
利 用 料	子ども無料 大人300円
周知方法	①ひとり親には児童扶養手当の現況届出時に案内・説明 ②広報（毎月）掲載

2 平成 30 年度・令和元年度の実績及び関係機関との連携

▼参加者内訳（令和元年12月末現在）

	ひとり親【延】			一般世帯【延】			参加人数 合計【延】	ボランティア参 加人数合計【延】
	世帯数	大人	子ども	世帯数	大人	子ども		
平成 30 年度	13	13	18	75	90	129	251	322
令和元年度	9	9	9	110	143	198	359	218

▼ボランティア内訳

参 加 団 体
アラベスク、キャンディーズ、紙飛行機クラブ、子育てネットワークわくわく、千春会、にしび防災ボランティアクラブ、ボーイスカウト、個人(サイエンス教室、プログラミング教室、スポーツ推進員、読み聞かせ、茶道、書初め等)

▼関係機関

食材の提供	セカンドハーベスト、地元農家
関 係 課	産業課、防災行政課、スポーツ課、生涯学習課、子育て支援課

3. モデル事業からみえたこと

- モデル事業開始時の目的がひとり親家庭への支援であったが、個別に周知は行ったものの、ひとり親の参加は少なく、一般世帯が多かった。ひとり親、一般世帯にかかわらず、親子で参加できる場所や地域との交流が求められている。

4. 今後の方向性

- 次年度からは、対象児童をひとり親家庭から、一般世帯を含めた子育て支援事業とし、目的として「子どもの居場所」や「地域とのつながり」を目指す子ども食堂とする。